

埼玉県協会・労働安全衛生大会を開催

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会は、平成29年9月28日、さいたま市内において、協会初の労働安全衛生大会を開催し130名が参加しました。

県内では、産業廃棄物処理業における労働災害が多発していることから、労働災害防止活動の推進と安全衛生意識の高揚を図るため実施したものです。

大会は、小林増雄会長から「皆様の知恵を出し合って、安全な職場づくりに取り組みましょう。」と開会挨拶があり、続いて、来賓の埼玉県産業廃棄物指導課の酒井辰夫課長から「環境産業へとステージアップするためには、作業者の安全や労働環境の確保が大前提」と挨拶がありました。

続いて、この大会を企画・運営した労働安全体制整備事業委員会の木下委員長から趣旨説明が行われました。

講演では、埼玉労働局の富樫講師から「産業廃棄物処理業における労働災害の発生状況と安全衛生」について、中央労働災害防止協会の藤原講師から「産業廃棄物処理業における安全衛生水準の向上に向けて」と題する講演がありました。

会員企業の優れた取組の事例発表では、(株)木下フレンドの木村・渋谷氏から「みんなでつくる安全職場」、(株)クワバラ・パンぷキンの桑原氏から「リスクの先取りとコミュニケーションの取組」について発表があり、講師から「基本を押さえた取組であり、ハード、ソフト両面から隙間なく実施している。」と講評がありました。

最後に、高澤副会長と参加者一同による安全宣言の唱和が行われ、安全に取り組む決意を新たにしました。



会場全体



会長あいさつ